

No.51

ハンドボール

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **コミセン-男21**

年月日 **2022年7月31日(日)**
 大会名 令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会 高体連大会 第72回全国高等学校ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 法政大学第二高等学校					B 県立岩国工業高等学校										
愛媛県		松山市			松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ							2回戦			
前半	A 12	B 14	最終結果	A 25	B 23	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加シフト	A	B	
7m得点/総数		A 0/1			チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/1		7m得点/総数		
		1 2740	2	3	1	2 後	3	1208	2243						

No.	法政二高	G	W	2'	D	DR	No.	岩国工業	G	W	2'	D	DR
1	鈴木 大翔						1	弥永 将虎					
2 c	杉山 博史	1					2	三浦 慶大					
3	杉浦 航平	3					3	下田 晴輝	5	1			
4	高岩 拓						4	岩本 悠輝	1				
5	星名 泰生	2					5	中村 出海	1				
6	富永 蒼央	4					6	大谷 翼					
7	富永 武郁	6					7 c	相葉 颯一朗	5				
8	山本 航司	4					8	河上 由都輝		1	1		
9	和田 波伶						9	濱重 凜久	7	1			
10	岡本 飛鳥	3					10	富田 海暉					
11	瀧川 雄翔						11	弥永 航大					
12	二階堂 恭世						12	金村 晃己					
13	竹中 友哉						13	桑原 楽					
14	松本 想	2					14	松本 一徳	4				
監督A	寄 修平						監督A	倉谷 康彦					
役員B	小寺 勝矢						役員B	上田 岳史					
役員C	立山 滉士						役員C	椿 知博					

A **岩国工業** チーム役員A署名 **倉谷康彦** B

特記事項

レフェリー	堀田 侑佑	櫻井 隆光	堀田 侑佑	櫻井 隆光
TD	多田 和生	近藤 啓司	多田 和生	近藤 啓司
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2022年7月31日(日)		会場	松山市総合コミュニティセンターメインアリーナ	
種別	男子		回戦	2回戦	
チーム名			チーム名		
法政大学第二高等学校(神奈川)			県立岩国工業高等学校(山口)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	12	前半	14	23	
	13	後半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

22回目の出場で5年ぶりの優勝を目指す法政大学第二と、28回目の出場を果たす岩国工業との伝統校対決。両チームとも豊富な運動量を誇るアグレッシブなDFを披露し、簡単には得点を許さない展開。法政二は⑩岡本、⑧山本、⑦富永のカットインシュート、④松本のミドルシュートなどで得点を挙げ、①GK鈴木のナイスセーブで観衆を魅了する。前半15分より7人攻撃を展開し、⑥富永、③杉浦らがゴールネットを揺らした。一方、岩国工の攻撃の中心は⑨濱重。ステップやディスタンスシュート、カットインなどで前半6得点を挙げる。⑦相葉、⑤中村、④松本らが得点を挙げ、②GK金村の好セーブもあり、岩国工が2点リードで後半に入る。

法政二は後半、展開の早い攻撃で②杉山らが得点し12分過ぎに逆転に成功。岩国工は二度の2分間退場で得点ペースが落ちてしまう。③下田や④岩本らで応戦するも、法政二の①GK鈴木の連続好セーブに苦しめられる。法政二は優位を保ったまま⑤星名らが得点を挙げ、25対23で法政二が勝利した。

ハンドボールの魅力を体現する、大変見応えのある好ゲームであった。